

東武動物公園 ニュースリリース

動 27-12 号
平成 27 年 6 月 29 日

ホワイトタイガーの子どもの脚の診療結果

東武動物公園(東武レジャー企画株式会社) 埼玉県宮代町 社長:日置岳人)では、今年 1 月 25 日に誕生した、ホワイトタイガー4 頭(長男:スピカ、次男:マリン、三男:リーフ、四男:アポロ)の内、スピカとリーフが後ろ脚の「膝蓋骨内方脱臼(しつがいこつないほうだっきゅう)」と診断され、6 月 26 日に、日本大学生物資源科学部付属の動物病院にて診療を受けました。

病院では、CT 検査などを行い、症状が悪化していたリーフの右膝の手術を先行して行いました。約 5 時間にも及ぶ手術を終えたリーフは、翌日お昼頃に園に戻り、現在、園内の動物病院にいます。術後の様子は、食欲もあり、とても元気ですが、展示再開には、もう少し時間がかかると思っていますので、温かく見守ってください。

また、ともに診療を受けた、スピカは 6 月 28 日より展示を再開しています。手術については、日大の先生と改めて日程を調整していきます。

(これまでの経緯)

当園では、2013 年 3 月にも 4 頭のホワイトタイガーが生まれており、その時の長男(スカイ)が、後ろ右脚の膝蓋骨内方脱臼と診断され、同年 12 月に手術を行いました。

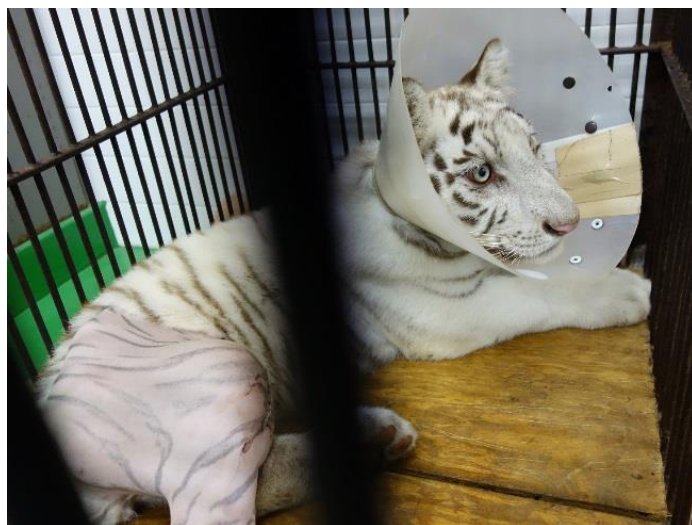
この経験を踏まえ、今回は早期発見・治療を心がけ、2 月 1 日より始めた健康診断時(その後毎週 1 回実施)に脚の具合を注意して観察していました。また、2 月 11 日には、スカイの手術を行った日大の先生にお越しいただき、診察を行い、同月 22 日には、レントゲン撮影を行いました。その結果、2 頭(スピカ、リーフ)の後ろ脚にスカイ同様、膝蓋骨内方脱臼の症状がみられました。

しかし、体はまだまだ成長過程のため、自然治癒にも期待し、2 月 23 日から保定が可能な限り、脚を曲げ伸ばすマッサージを施しました。(ほぼ毎日約 10 分間、4 月 30 日まで実施)

その間、3 月 24 日、4 月 12 日に、再び日大の先生による再診、レントゲン撮影を行いました。症状は大きく変わりませんでした。このままでは、今後、歩行に支障がでてくる可能性があるため、日大の先生とも相談した結果、6 月 26 日に、日大にて診療を行うことにしました。

膝蓋骨内方脱臼とは・・・膝のお皿のような形をした骨(膝蓋骨)が内側に脱臼する疾患です。

※ 取材については、動物の体調などにより撮影範囲が限られますのでご相談ください。



手術を終え、園に戻ってきたホワイトタイガーのリーフ(H27.6.27 撮影)

〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画株式会社 業務部 山口・中嶋・前田

TEL 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>